

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H25.1.31現在)

	1月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成24年度(今年度)	3件	77件	1人	29人
平成23年度(昨年度)	5件	74件	1人	19人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

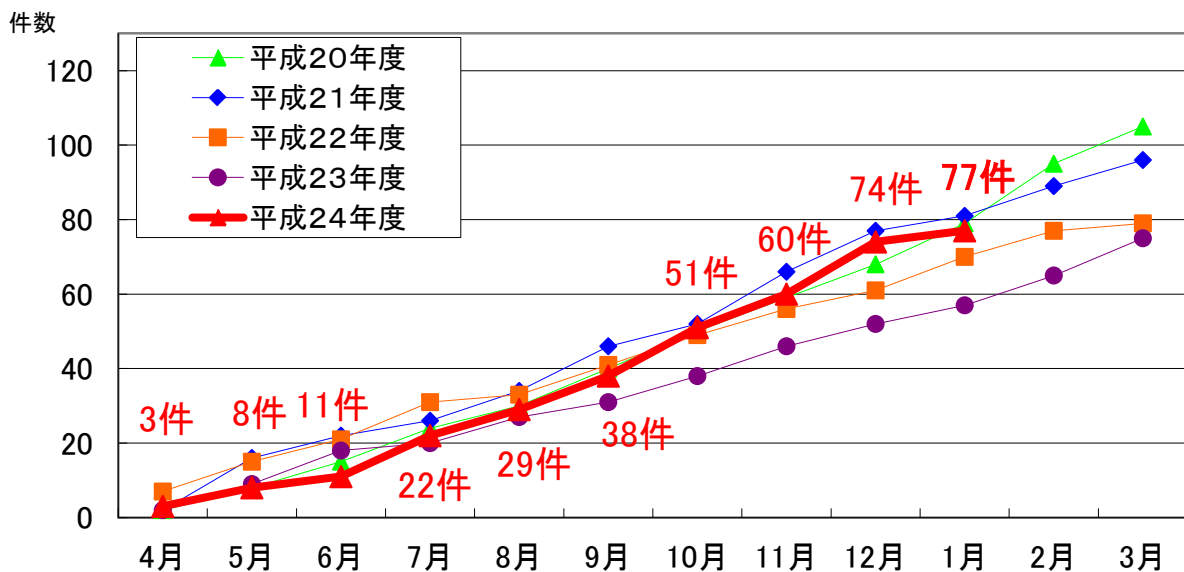
注2) 「1月発生件数」は、1/1～1/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成24年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

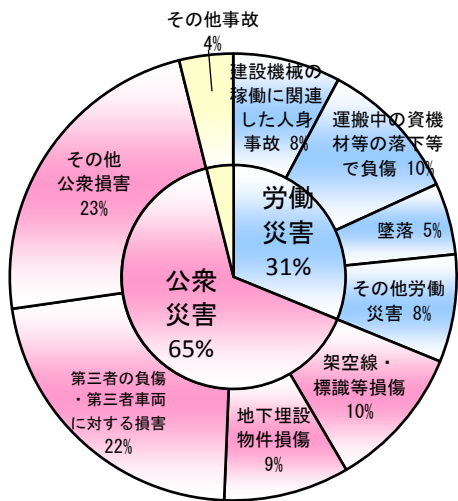
●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	79件 (11件)	95件 (16件)	105件 (10件)
平成21年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	16件 (14件)	22件 (6件)	26件 (4件)	34件 (8件)	46件 (12件)	52件 (6件)	66件 (14件)	77件 (11件)	81件 (4件)	89件 (8件)	96件 (7件)
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)		

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

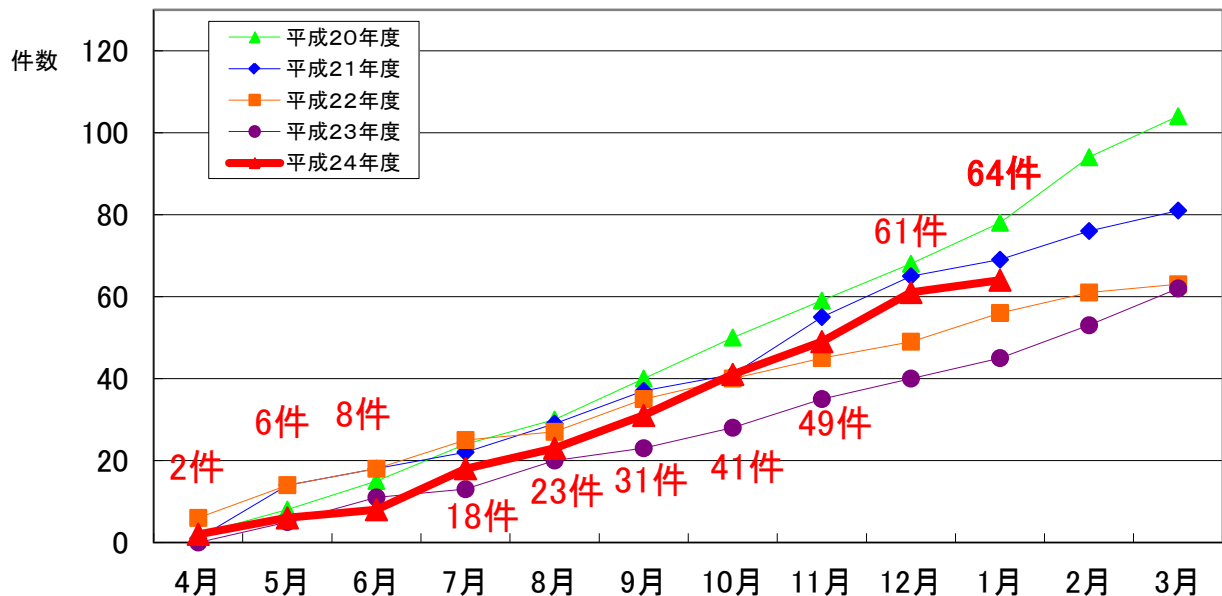
●平成24年度 工事事故発生状況(発生形態別)



発生形態		H22	H23	H24	過去3年間計
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	6	4	6	16
	部材の加工作業等により自らを負傷	4	1	0	5
	運搬中の資機材等の落下や下敷きで負傷	2	5	8	15
	墜落	8	3	4	15
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	0	0	0
	その他労働災害	5	1	6	12
小計		25	14	24	63
公衆損害	架空線・標識等損傷	14	9	8	31
	地下埋設物件損傷	6	8	7	21
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	13	22	17	52
	その他公衆損害	19	18	18	55
	小計	52	57	50	159
その他事故	2	3	3	8	
計		79	74	77	230

 ……H24年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数 (車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)

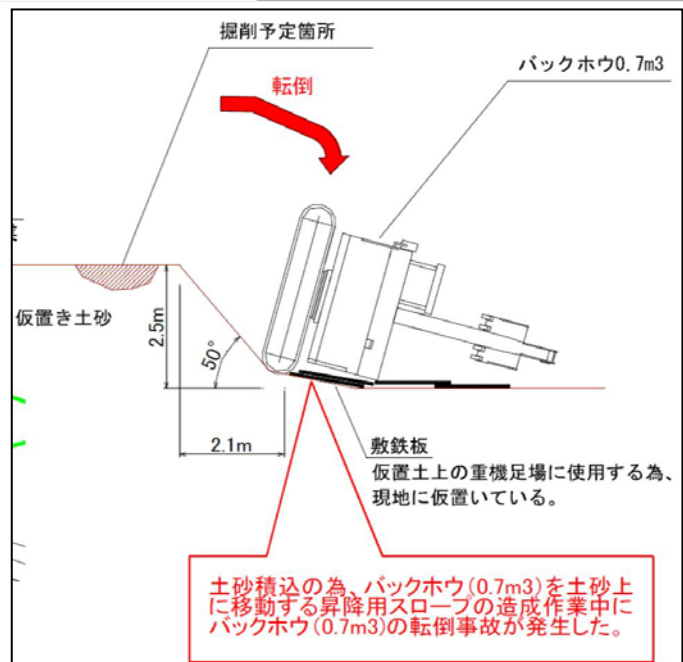


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成20年度	累計 (月毎)	2件 (2件)	8件 (6件)	15件 (7件)	24件 (9件)	30件 (6件)	40件 (10件)	50件 (10件)	59件 (9件)	68件 (9件)	78件 (10件)	104件 (10件)
平成21年度	累計 (月毎)	1件 (1件)	14件 (13件)	18件 (4件)	22件 (4件)	29件 (7件)	37件 (8件)	41件 (4件)	55件 (14件)	65件 (10件)	69件 (4件)	81件 (7件) (5件)
平成22年度	累計 (月毎)	6件 (6件)	14件 (8件)	18件 (4件)	25件 (7件)	27件 (2件)	35件 (8件)	40件 (5件)	45件 (5件)	49件 (4件)	56件 (7件)	63件 (5件) (2件)
平成23年度	累計 (月毎)	0件 (0件)	5件 (5件)	11件 (6件)	13件 (2件)	20件 (7件)	23件 (3件)	28件 (5件)	35件 (7件)	40件 (5件)	45件 (5件)	62件 (8件) (9件)
平成24年度	累計 (月毎)	2件 (2件)	6件 (4件)	8件 (2件)	18件 (10件)	23件 (5件)	31件 (8件)	41件 (10件)	49件 (8件)	61件 (12件)	64件 (3件)	

発生日時	平成 25 年 1 月 17 日 (木)			7 時 50 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	バックホウ転倒		
事故概要	現場内の土砂積込準備作業において、バックホウが、バランスを崩し転倒したものを。					
	その他事故－建設機械等の転落、下敷き、接触、衝突等					

事故発生状況

- ・現場内に仮置きしている土砂をバックホウ(0.7m³)1台と10tダンプトラック3台を用いて搬出する作業を行う予定であった。
- ・土砂積込の為、バックホウを土砂上に移動するための昇降用スロープの造成準備しようと斜面(50°)を進んだが、重機足場の土砂状態が悪かったため、足場整備のため後進しようとした。
- ・運転方向を変えようと、右旋回を行ったところ、90°旋回したところでバランスがわるくなり、キャタピラ後方に置いていた敷鉄板がズレれ、軟弱地盤に潜り、バランスを崩して転倒したものを。
- ・人身被害無し。シートベルト装着。バックホウの操作室は部屋タイプ。



【事故発生原因】

- ・スロープ造成の具体的な指示が不足しており、奥側から造成しようとし、地盤の悪い傾斜地に重機を配置したため。
- ・作業の監視員を配置する予定であったが、配置せず、作業を行ったため。
- ・転倒の恐れがある傾斜地における重機作業の安全の指導が不足していたため。 など

【事故防止のポイント】

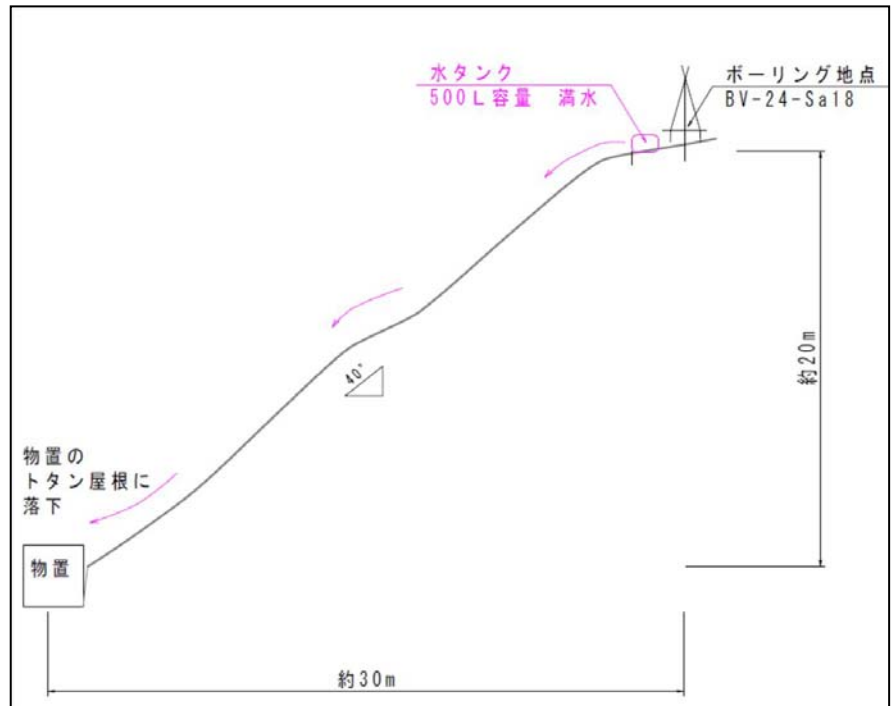
- ・転倒の恐れのある作業においては、監視員を配置し、作業の確認を行う。
- ・建設機械作業時の安全教育の徹底。 など

発生日時	平成 25 年 1 月 18 日 (金) 13 時 0 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	-	-	-	民家物置屋根へこみ、亀裂		
事故概要	ボーリング作業中、作業用のポリタンク(水の量500l)が作業場から落下し、山の下の民家物置の屋根に落下、損傷させたもの。					
公衆損害事故-第三者の負傷・第三者車両に対する損害						

事故発生状況



・ボーリング作業において、斜面上にボーリング給水用ポリタンク (1070mm × 880mm × 800mm) を設置 (落下防止対策として、単管パイプを打設)。
 ・ポリタンクへ給水を行ったまま、昼食のため作業員が現場を離れている際に、落下防止の単管パイプが倒れ、ポリタンク(水の量およそ500l)が、山の下の民家物置の屋根に落下、損傷させたもの。



【事故発生原因】

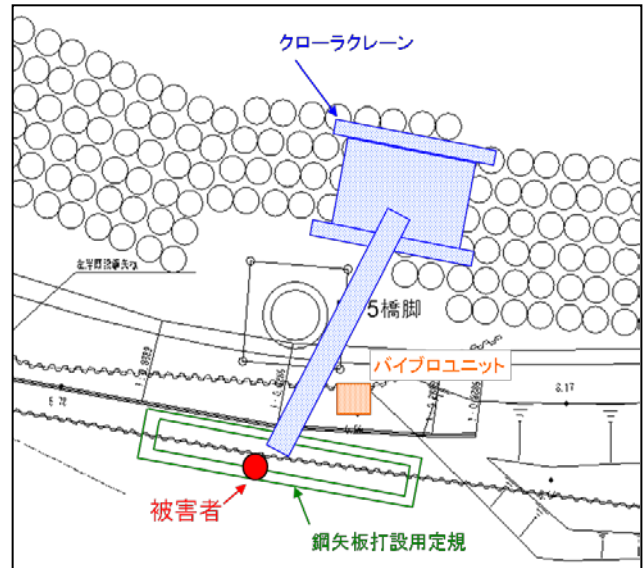
・落下防止対策が不十分であったため。 など

【事故防止のポイント】

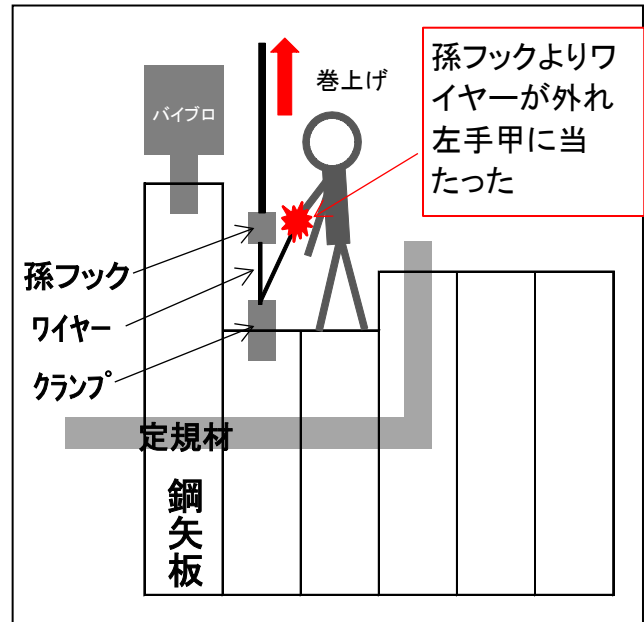
・物体の落下による危険を防止するため、落下防止対策を行う。 など

発生日時	平成 25 年 1 月 10 日 (木) 13 時 30 分			天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事				
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度	
	男	37	とび	左第4,5中手骨骨折	
事故概要	鋼矢板を打設中、吊荷ワイヤーが外れ、そのワイヤーが作業員の左手の甲に接触、負傷したものの。 工事関係者事故—運搬中の資機材等の落下や下敷きで負				

事故発生状況



・河川内で鋼矢板を打設中、鋼矢板が共下がりしたので、鋼矢板にクランプをかけ、ワイヤーを孫フックにかけ、巻き上げた際、孫フックから吊荷側のワイヤーが外れ、ワイヤーが跳ねたときに作業員の左手甲に接触し、負傷したものの。
・受注者の判断により、発注者への事故発生の報告は行われなかった。
＜土木工事共通仕様書1-1-29事故報告＞



【事故発生原因】

- ・玉掛が不十分であったため。
など

【事故防止のポイント】

- ・玉掛け作業の、作業手順書を示し、作業員に周知・徹底する。
- ・(事故が起きたら速やかに発注者に報告する。) など